

研究課題名	くも膜下出血後の脳血管攣縮治療薬クラゾセンタンの治療効果に関する後方視的観察研究
研究実施機関名 および研究責任者	さいたま赤十字病院 脳神経外科 部長 野下展生
研究代表施設 および代表研究者	さいたま赤十字病院 脳神経外科 部長 野下展生
研究期間	臨床倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日
研究の目的と意義	くも膜下出血後の脳血管攣縮治療薬クラゾセンタンナトリウム（ピヴラツツ®）導入前後の治療成績について比較検討し、脳血管攣縮およびその関連イベント、転帰に関する効果を検証する。
本研究の対象となる方	2019 年 4 月から 2025 年 3 月までの期間で、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対して根治術を行った患者
提供していただく情報	年齢、性別、発症日、治療日、治療内容、画像情報、脳血管攣縮およびその関連イベントの有無、転帰
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	研究実施に係る情報を取り扱う際には予め患者の個人情報とは無関係な番号を付して情報を管理する。患者の個人情報が院外へ漏れないように十分配慮する。
問い合わせ先 (拒否等の受付窓口)	【研究担当者】 所属:さいたま赤十字病院 脳神経外科 氏名:野下展生 住所:埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話:048-852-1111